



招提北中だより

枚方市立招提北中学校
H30. 7. 2 (月)
発行者：校長 山本俊夫

大阪北部地震

6月18日7時58分に発生した大阪北部地震。枚方市で震度6弱の強い揺れを観測しました。発生時、私は学校に来ていましたが、みなさんは、登校途中や家を出ようとした時の人も多かったと思います。とにかく、私たちとしては生徒の皆さんの生存確認を優先して、登校してきた皆さんには曇り空のもと待機してもらいましたが、騒ぎ立てることもなく、長時間でしたが辛抱して待機してくれました。登校していなかった人にも連絡が付き、全員無事であることが確認され、市教委からの指示で臨時休校となり、保護者の方の引取りで帰宅となりました。

これまでも日本各地で大きな地震が発生してきましたが、地震の少ない大阪にいます、なかなか実感しにくい面もあったように思います。しかしながら、今後発生すると予想されている「南海トラフ地震」のことを考えると、改めて常日頃から、「防災」のことについて考え、いつ起こっても対処できるような準備をしおくことは、本当に必要であると強く感じました。



※生徒会・生活専門委員会では、今回の地震発生前から近年起こった地震について調べていて、教室棟1階に掲示されています。

※社会科の方では、新聞記事による今回の地震での被害状況について、管理棟2階の会議室前の掲示板に、特集を組んでまとめてもらっています。

「津波てんでんこ」：東日本大震災のときに有名になったこの言葉。「海岸で大きな揺れを感じたときは、津波が来るから肉親にもかまわず、各自でてんでばらばらに一刻も早く高台に逃げて、まずは自分の身を守れ、そうすれば家族はまた会うことができる」という意味。この言葉は、「冷たい」ととられることもあるようですが、地震は、いつ・どこで発生するかは誰も予測できません。その時、各自の「判断」に委ねられます。「自分の身は自分で守る」ということを最優先にするという「教え」はうなずけます。



←「釜石の奇跡」と言われた避難の様子。釜石東中学校の生徒が鶴住居小学校の児童を誘導し避難。いったん避難所に避難したが、中学生の提案によりさらに高台へ避難。このとき避難した児童生徒全員が難を逃れた。防災意識の高い中学生の冷静な判断が、多くの命を間一髪で見事に救うことになった。

クラブ表彰

＜女子バレーボール部＞ おめでとう！よく頑張りました！

○春季枚方大会ジュニアの部（2年生大会） 準優勝



3年生修学旅行 ～長野県・白馬方面へ～

5月27日～29日、3年生は長野県・白馬方面へ修学旅行に行きました。週間予報ではずっと雨マークが出ていて（特に28日は山に行くので）心配しながらの出発でした。

【27日】予定通り出発し、バス内では係の人が作成した「バスレク」で楽しみました。昼食後犀川のラフティング施設へ。雪解け水でけっこう水量があって、のんびり&アクティブに楽しんでいるようでした。夜はクラスレクで「肝試し」「ゲーム」で大いに盛り上がっていました。



【28日】予報では「曇」ということだったので、午前中、八方尾根トレッキングに行くことにしました。ゴンドラとリフトを乗り継ぎ、八方尾根を歩き始めた頃から天気が好転、快晴となりました。思う存分、雪渓での雪遊びを楽しみました。午後はEXアドベンチャー。ハイエLEMENTは高いところが苦手な人にとっては少し厳しかったかもしれませんが、それぞれのペースで様々なアスレチックをクリアしていきました。夜はクラスミーティング。何が行われたのかは、マル秘だそうです。

【29日】修学旅行最終日。午前中は白馬ジャンプ台の見学です。ここも高いところが苦手な人にとっては厳しいところだったかもしれません。あの高梨沙羅さんはこんな高いところからジャンプするんだなと思いつつ展望を楽しんでいました。お土産購入後は大阪に向かって出発。添乗員・ドライバーさんの機転のお陰で、ほぼ予定通り学校へ到着しました。本当に天候に恵まれ、予定された内容を全て実施できた3日間でした。日ごろの行いの良さが出ましたね！



第34回 体育祭

6月7日に第34回体育祭が実施されました。明け方まで降っていた雨の影響で、グラウンドの状態が良くなかったのですが、委員会やボランティアの生徒の皆さんの懸命の復旧作業のお陰で、何とか30分遅れで開始することができました。その後天候も回復し、競技は順調に進み、それぞれの競技で熱戦が繰り広げられました。結果は赤団の優勝。運営にあたった、生徒会・代専の皆さんお疲れ様でした。

